

一般社団法人 日本公認不正検査士協会
公認会計士・監査法人向け「不正調査技術 短期修得講座」を発表

一般社団法人日本公認不正検査士協会：ACFE JAPAN（理事長：濱田 眞樹人）は、公認会計士・監査法人向けの「不正調査技術 短期修得講座」を開くことを発表しました。

昨今の監査の信頼を揺るがすような度重なる会計不祥事により、監査人はより強い態度で監査業務に臨むことが期待されています。

当講座は、①不正の端緒の把握と職業的懐疑心、②会計不正の種類と制裁、証拠の収集・法的観点から、③不正実行者の心理・行動科学で解き明かす不正者の性質や特徴の 3 カリキュラムから構成され、会計士と捜査官の技術を併せ持つ公認不正検査士の調査技術を修得することを目指し、実際に不正調査を専門とする公認会計士、弁護士、そして、行動科学の専門家を講師としました。

青山学院大学大学院 八田進二教授は「不正リスク対応能力を磨くことは監査の質の向上にも貢献するはず」と指摘しています。

■カリキュラムの概要

① ～不正の端緒の把握と職業的懐疑心～ 受講時間：3 時間

監査業務を行うにあたり、不正の端緒を把握した後の、深度ある監査手続きを実施するための技術修得を目的とします。不正の端緒とは何かを明らかにし、主な不正の手口の実例を取り上げ、深度ある監査手続について解説します。

② ～会計不正の種類と制裁、証拠の収集-法的観点から～ 受講時間：3 時間

会計監査から把握できる不正の種類とその制裁の現状について理解すること等を目的とします。

調査を進めるためのエビデンスの収集に当たり、法的な観点に照らし、できること、できないことを解説します。

③ ～不正実行者の心理-行動科学で解き明かす不正者の性質や特徴～ 受講時間：1.5 時間

人はなぜ不正を犯すのか？なぜ不正に走るのか？その行動メカニズムを行動科学と言う分野から検証します。本講座では、プロファイリングという技術を使用し、不正者の性質や特徴を行動科学的に分析します。また、実際に起きた事件を用いながら解説します。

■受付開始時期 2016 年 4 月 4 日

■受講対象者 監査法人、公認会計士事務所などで監査に従事する方

■「ACFE 公認不正検査士協会」とは

ACFE（Association of Certified Fraud Examiners：公認不正検査士協会）は、世界的な規模で不正対策に関するトップレベルのトレーニングを提供しています。世界 150 ヶ国以上に約 75,000 人にも及び会員を有する協会として、世界最先端の知識と実践的な問題解決策の提供を通じて、不正対策の専門家の方々が結束して不正防止・早期発見に取組めるよう支援しています。ACFE は世界中に 150 以上の支部（local chapters）を有しており、それらの支部を通じて会員同士の交流の機会やセミナー等の教育機会を提供しています。各支部のイベントは、会員以外の方にも開放されています。

日本の会員数は 1,469 名（3/1 現在）。 CFE 資格者は 926 名（3/1 現在）。

※ACFE JAPAN の詳細は公式ウェブサイトをご参照ください。 <http://www.acfe.jp/>

【この件に関するお問い合わせ先】

[会社名] 一般社団法人 日本公認不正検査士協会 ACFE JAPAN

[担当者名] 矢澤 [TEL] 03-5296-8338 [Email] info@acfe.jp